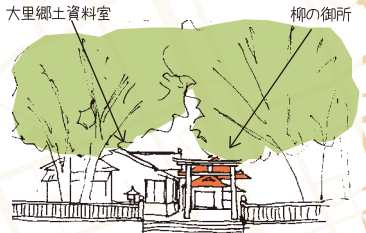


平安時代から続く平家由緒の町の名を残し
九州最北の宿場町から近代産業が集積したまち



細川忠利の浜御殿(御茶屋)があった場所であり、当時の茶の湯の井戸が境内に残っています。また宗門改めが行われた藩政時代には判行寺として経路が行われていました。



安徳天皇を奉じた平家一門が諸地を経て柳ヶ浦(現在の太里)に仮御所を造営したことに由来。



戸上神社の境内には、鈴木商店関連企業と縁の深い「前田組」前田金次郎氏、「池田組」池田源次氏や帝国麦酒が寄進した石碑が残されています。鈴木商店の進出が地元にも影響を与えたことがわかります。

旧大里駅があった場所
地元ならではの歴史や見所情報を聞くことができるかも！
*カフェキヤラーです
日祝休み 10:00~16:30

大里郷土資料室



なだらかな坂 / 大きな鳥居が見えてくる！

大きな鳥居が目印

大正時代に建てられた九州最初のビール工場として建設されました。煉瓦造の工場群です。醸造棟以外は現在も利用され公開しています。
*醸造棟は普段は未公開【建物すべて国登録】



現在は廃寺ですが、十三仏や子安大師、水かけ地藏が並んでいます。



満隆寺

北九州風景街道ルート
●■■■■ 門司往還
——— おすすめさんぽみちルート



関門海峡の行き交う船をぼーと見たり日暮れのフォトスポット

スタート
JR門司駅 約3.2km

風呂の井戸



平家の一や安徳天皇など旅の疲れを癒すために、この水を風呂の用水にしたことに由来します。